

## 2021年7月 キューバ情勢

### 【概況】

#### 1 内政

- (1) 人民権力全国議会第9立法期第7回通常会期の日程：撤回
- (2) 大規模デモの発生及びその後の政府の対応

#### 2 外交

- (1) チン・ベトナム首相との電話会談
- (2) ロドリゲス外相の熱海市土砂災害に対するお悔やみのツイッター
- (3) 中国共産党結党100周年記念サミットにおけるディアスカネル共産党第一書記演説
- (4) ロドリゲス・ベネズエラ副大統領の訪問
- (5) キューバにおけるデモを受けたバイデン米大統領声明
- (6) 米国による新たな制裁の発表
- (7) ロドリゲス外務大臣の第21回CELA C外相会合出席
- (8) キューバに関する共同声明
- (9) 在フランス・キューバ大使館への攻撃
- (10) チョン・ベトナム共産党書記長との電話会談
- (11) ロドリゲス外務大臣のペルー大統領就任式参列
- (12) ボレルEU外務・安全保障政策上級代表による宣言

#### 3 新型コロナウイルス

- (1) 新型コロナウイルス感染状況等（※7月31日23：59時点、保健省発表）
- (2) キューバにおけるワクチン開発

### 【本文】

#### 1 内政

- (1) 人民権力全国議会第9立法期第7回通常会期の日程：撤回

6日、共産党機関紙「グランマ」に、エステバン・ラソ人民権力全国議会兼国家評議会議長が、現下の新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた対策の遵守に貢献するため、6月24日に発表された人民権力全国議会第9立法期第7回通常会期の日程に関する決定の効力を失わせる決定を行った旨掲載された。

- (2) 大規模デモの発生及びその後の政府の対応

ア 11日11：00ごろ、アルテミサ県サン・アントニオ・デ・ロス・パニョス市で

デモが発生し、その後、首都ハバナ市を含め、全県（全14県及び青年の島特別行政区）の県庁所在地など全国20都市以上で、全体としては数千名規模のデモが発生したと報じられた。一部は暴徒化し、警察車両の横転や、外貨ショップに対する略奪行為が起きたと報じられている。

イ 11日午後、ミゲル・ディアスカネル大統領は、大規模デモが発生したサン・アントニオ・デ・ロス・バニョス市を訪問し、市民と対話した。この訪問には、ロベルト・モラレス共産党組織・幹部政策担当書記及びロヘリオ・ポランコ同党イデオロギー局長が同行した。

ウ 11日16:00、ディアスカネル大統領はテレビで緊急会見を行い、物資不足を始めとするキューバ国民の苦難の元凶は米国による経済制裁であり、今回のデモは米国政府から資金援助を得ている者が扇動していると非難するとともに、革命を防衛する必要性を強調し、革命支持者に対して町に出て革命を擁護するよう訴えた。その後、全国各地で政府を支持するデモが展開された。

エ また、11日には、ラウル・カストロ前共産党第一書記出席の下、共産党政治局員会合が開催された。

オ 12日、ディアスカネル大統領、マヌエル・マレーロ首相、アレハンドロ・ヒル副首相兼経済・企画大臣、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣、ロドリゴ・マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣、ホセ・ポルタル保健大臣、リヴァン・アロンテ・エネルギー・工業大臣及びマルタ・アヤラ遺伝子工学バイオテクノロジーセンター（CIGB）所長がテレビに出演し、9:00から4時間30分に亘って国内記者からの質問に答える形の記者会見を行い、現状に対する政府の対応を説明して国民への理解を訴えた。

カ 12日、ハバナ県アロヨ・ナランホ市で今回のデモによる初めての死者（36歳・男性）が出た旨報道された。

キ 13日、ロドリゲス外務大臣は本件に関する外交団向け説明会を実施したほか、第三国記者向け記者会見を実施した。

ク 14日、ディアスカネル大統領、マレーロ首相及びヒル副首相兼経済・企画大臣が情報番組「メサ・レドンダ」に出演し、今回のデモの原因とも言われている電力事情、食料・医薬品の個人輸入に係る一時的緩和措置及び公社社員への給与体系等についての説明を行い、国民への理解を重ねて訴えた。

ケ 17日早朝、ラウル・カストロ前第一書記出席の下、ハバナ市のホテル・ナシオナル前で革命支持者による集会が行われ、ディアスカネル大統領が演説を行い、その様子はテレビ中継された。

## 2 外交

### (1) チン・ベトナム首相との電話会談

1日、マレーロ首相は、ファム・ミン・チン・ベトナム首相と電話会談を行った。同会

談は、最良の二国間関係を強調するとともに、相互に共産党大会の結果に祝意を表し合う機会となった。両者は、新型コロナウイルス感染症拡大下でも特別な二国間関係は継続して発展しているとの点で一致するとともに、新型コロナウイルス対策における二国間協力を推進していくことで合意した。

#### (2) ロドリゲス外相の熱海市土砂災害に対するお悔やみのツイッター

6日、ロドリゲス外務大臣は、熱海市で起こった土砂災害の犠牲者に対するお悔やみのメッセージを自身のツイッターに投稿した。

#### (3) 中国共産党結党100周年記念サミットにおけるディアスカネル共産党第一書記演説

6日、ディアスカネル共産党第一書記兼大統領は、オンライン形式で開催された中国共産党結党100周年記念世界サミットに出席し、中国共産党が指導する社会主義国家建設を賞賛するとともに、米国が中国を安全保障の脅威と見なされるように努め、中国共産党を中傷することに執心してきたとして批判する内容の演説を行った。

同サミットには、モラレス共産党中央委員会政治局員兼組織・幹部政策担当書記及びロドリゲス同政治局員兼外務大臣が同席した。

#### (4) ロドリゲス・ベネズエラ副大統領の訪問

16日、ディアスカネル共産党第一書記兼大統領は、キューバを訪問中のデルシー・ロドリゲス・ベネズエラ副大統領と会談した。両者は、両国間の協力関係及び新型コロナウイルス感染症対策を含む関心事項について会談した。

会談には、キューバ側からマレーロ首相、リカルド・カブリサス副首相、ロドリゲス外務大臣、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣、アウヘニオ・マルティネス外務省ラテンアメリカ・カリブ局長及びダゴベルト・ロドリゲス駐ベネズエラ大使が、ベネズエラ側からアダン・チャベス駐キューバ大使が、それぞれ同席した。

#### (5) キューバにおけるデモを受けたバイデン米大統領声明

22日、米ホワイトハウスは、キューバにおけるデモの取り締まりを非難し、デモ参加者への支持を表明するジョセフ・バイデン大統領の声明を発表した。同声明の中では、キューバ国民へのインターネットアクセスの提供や、送金政策の見直し、キューバにおける領事サービスの提供のための在キューバ米国大使館の人員の再配置などが言及されている。

バイデン大統領による声明及び下記(6)のキューバに対する新たな制裁の発表に対し、22日、ロドリゲス外務大臣は米国政府による政策を強く非難する記者会見を行った。

(6) 米国による新たな制裁の発表

22日、米財務省外国資産管理室（OFAC）は、キューバにおけるデモに対する政府の取り締まりを受け、アルバロ・ロペス・ミエラ革命軍事大臣及びキューバ内務省所属特殊部隊（Brigada Especial Nacional）を制裁対象に指定したことを発表した。

(7) ロドリゲス外務大臣の第21回CELAC外相会合出席

24日、ロドリゲス外務大臣は、メキシコ市で開催されたラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）外相会合に出席した。ロドリゲス外務大臣は、演説の中で最近の米国による制裁を強く非難するとともに、キューバのラテンアメリカ・カリブの地域統合への変わらぬ支持を訴えた。

(8) キューバに関する共同声明

26日、オーストリア、ブラジル、コロンビア、クロアチア、キプロス、チェコ共和国、エクアドル、エストニア、グアテマラ、ギリシャ、ホンジュラス、イスラエル、ラトビア、リトアニア、コソボ、モンテネグロ、北マケドニア、ポーランド、韓国及びウクライナの外務大臣並びに米国国務長官は、キューバにおけるデモ参加者の大規模な逮捕及び拘束を非難し、全てのキューバ国民に対して、情報の自由な流通を含む、普遍的権利及び自由を尊重するようキューバ政府に要請する旨の共同声明を発表した。

(9) 在フランス・キューバ大使館への攻撃

26日、在フランス・キューバ大使館に火炎瓶が投げ込まれる事件が発生した。ディアスカネル大統領及びロドリゲス外務大臣は同攻撃への非難を自身のツイッターに投稿するとともに、キューバ外務省は防犯カメラの映像をツイッターに投稿した。なお、同攻撃による犠牲者は出なかった。

27日、フランス外務省報道官は、同攻撃を非難するコメントを発表した。

(10) チョン・ベトナム共産党書記長との電話会談

27日、ディアスカネル共産党第一書記兼大統領は、グエン・フー・チョン・ベトナム共産党書記長と電話会談を行った。両者は、新型コロナウイルス感染拡大下でも、二国間関係を継続して拡大し、キューバにおける新型コロナ・ワクチン開発を含めた保健やバイオテクノロジー分野での二国間協力を強化する可能性があるということを確認した。

同会談には、キューバ側からモラレス共産党政治局員兼組織・幹部政策担当書記、ロペス・ミエラ共産党政治局員兼革命軍事大臣、ラサロ・アルバレス共産党政治局員兼内務大臣、カプリサス副首相、ホセ・ミランダ共産党中央委員会委員兼保健大臣、マルセリーノ・メディーナ外務大臣代行、アンヘル・アルスアガ共産党国際関係局調整官、エドゥアルド・マルティネス・ビオ・クーバ・ファルマ総裁及びアルベルト・ブランコ外務省アジア大洋

州課長が、ベトナム側からファン・ビン・ミン共産党政治局員兼副首相、トー・ラム共産党政治局員兼治安大臣、ファン・ヴァン・ジャング共産党政治局員兼国防大臣、Dinh Tien Dung 共産党政治局員兼ハノイ書記、レ・ミン・フン共産党書記局員兼中央委員会事務局長、レ・ホアイ・トラング共産党中央委員会委員兼国際関係委員会委員長、ブイ・タイン・ソン共産党中央委員会委員兼外務大臣、ヴー・ハイ・ハ共産党中央委員会委員兼国会外務委員会委員長、グエン・タイン・ロン共産党中央委員会委員兼保健大臣が、それぞれ同席した。

#### (11) ロドリゲス外務大臣のペルー大統領就任式参列

28日、ロドリゲス外務大臣はペルーを訪問し、ペドロ・カステージョ大統領就任式にキューバを代表して参列した。

#### (12) ボレルEU外務・安全保障政策上級代表による宣言

29日、ジョセップ・ボレルEU外務・安全保障政策上級代表は、最近のキューバ情勢に関し、EUを代表して宣言を発表した。同宣言は、国民のデモは、食料、医薬品、水、電力の不足や、表現の自由、報道の自由に対する国民の正当な不満を反映したものであるとしつつ、抗議活動に対する弾圧や、抗議者やジャーナリストの逮捕への懸念を表明し、キューバ政府に対し、恣意的に拘束されたすべてのデモ参加者を解放し、市民の声に耳を傾け、彼らの不満について包括的な対話を行うことを強く求めている。一方、対外貿易と外国投資は、キューバの近代化、政治・経済改革、持続可能な成長への道筋をつける上で重要な役割を果たしており、COVID-19パンデミックによって悪化した経済的苦境を克服する助けにもなるとして、送金や旅行を含む対外的な規制の緩和は、この点において有用であるとも言及している。

これに対し、ロドリゲス外務大臣は、同宣言には米国による経済封鎖という言葉への言及が無く、EUは同域内の警察による弾圧に対応すべきとして強く非難するメッセージを自身のツイッターに投稿した。また、外務省は、エミリオ・ロサダ二国間問題局長がボレル上級代表による宣言を非難する宣言を発表した。

### 3 新型コロナウイルス

#### (1) 新型コロナウイルス感染状況等 (※7月31日23:59時点、保健省発表)

- ア 感染者累計：394,343名
- イ 死亡者数：2,845名
- ウ 退院者数：348,487名
- エ 自国帰国者数：54名
- オ 国外搬送者数：2名
- カ 入院中：42,955名 (うち、危篤146名、重篤208名)

## (2) キューバにおけるワクチン開発

### ア ワクチン効果の発表

8日、ビセンテ・ベレス・フィンライ・ワクチン研究所（IFV）所長は、同研究所が開発している新型コロナ・ワクチン「ソベラナ02」及び「ソベラナ・プラス」は、「ソベラナ02」2回と「ソベラナ・プラス」1回の組み合わせの接種（14日間隔）によって、91.2%の有効性がある旨、ディアスカネル大統領出席の下で開催された新型コロナウイルス対策会合にて発表した。

### イ ワクチンに対する緊急使用許可付与

9日、国立医薬品医療機器管理センター（CECMED）は、遺伝子工学バイオテクノロジーセンター（CIGB）が開発している新型コロナ・ワクチン「アブダラ」に対し、緊急使用許可を与えた旨発表した。同ワクチンは、3回の接種（7日間隔）によって、92.28%の有効性があることが示されている。